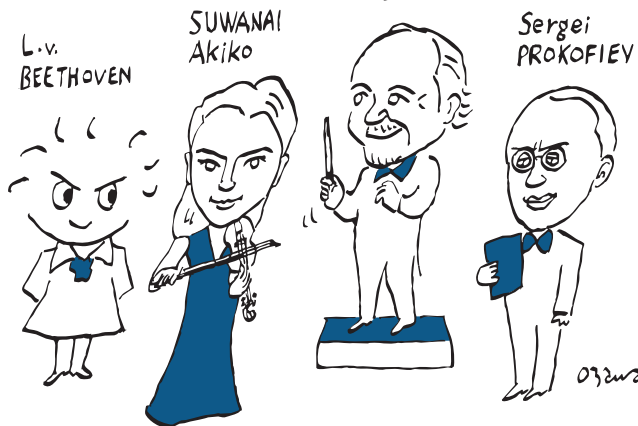


Tokyo

東京定期演奏会
782nd



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION
CONCERTS
2026.7



Yokohama

横浜定期演奏会
419th

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします

電源OFF



演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。

音にご注意を



ビニール袋
靴にしまし、またはいすの下へ置くなど物音がたたないようにご配慮ください。



飴の袋
客席内の飲食はご遠慮いただいております。お咳の予防等ご利用の際は、演奏前にお口の中に入れるか、あらかじめ袋から出しておく等のご準備をお願いいたします。



マジックテープやファスナーの音
開け閉めの音は意外に響きます。演奏前にご確認ください。



鈴などアクセサリがついたストラップ
靴にしましなど鳴らないようにご配慮ください。



補聴器の音
ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。

声と拍手にご注意を



私語



せき

演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。最後の余韻までお楽しみください。

撮影禁止



録音禁止



録画禁止



写真撮影禁止

演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。詳細は公演時にご案内いたします。

周囲にご配慮を



身を乗り出さない



つばの広い／高さのある帽子

席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることございます。周囲にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください!



©飯田 耕治

CONTENTS 目次

東京定期演奏会プログラム	4
次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー カーチン・ウォン編	10
横浜定期演奏会プログラム	12
歴史でひもとく!〜クラシックこぼれ話 by小宮 正安	17
次回横浜定期演奏会	18
写真プレイバック- 2026年4月〜5月 -	19
今後の日本フィル出演公演	20
あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ	22
第52回夏休みコンサート2026	23
メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧	24
秋冬芸劇シリーズ2公演セット券	25
東京・横浜秋冬定期演奏会一覧	33
感動の共有 ~ご支援のお願い~	35
日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	36
日本フィルハーモニー交響楽団 パトロネージュご芳名	40
インフォメーション	42
オーケストラ・プロフィール	43
楽団紹介	44

ご来場お客様アンケートのお願い

公演ごとに抽選で招待券をプレゼント

本日は、演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。
3分程度のアンケートを、二次元コードを読み取っていただき、演奏会から5日以内にご回答をお願いします。



PROGRAM

第782回東京定期演奏会

782nd Tokyo Subscription Concerts

2026年 7月10日(金) 19:00 開演

7月11日(土) 14:00 開演

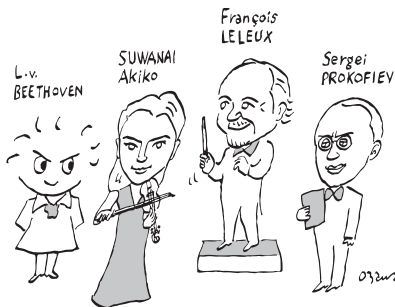
サントリーホール

7:00p.m., Friday, 10th & 2:00p.m., Saturday, 11th July, 2026, at Suntory Hall

プレトーク「本日の聴きどころ」 金曜日/18:30~
土曜日/13:20~

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。

今月は音楽評論家の山崎浩太郎さんです。



ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61 (約45分)

Ludwig van BEETHOVEN

Concerto for Violin and Orchestra in D-major, op.61

I Allegro ma non troppo

II Larghetto

III Rondo: Allegro

休憩 (15分) Intermission

プロコフィエフ 交響曲第5番 変ロ長調 op.100 (約46分)

Sergei PROKOFIEV

Symphony No.5 in B-flat major, op.100

I Andante

II Allegro marcato

III Adagio

IV Allegro giocoso

指揮 フランソワ・ルルー

Conductor François LELEUX

ヴァイオリン 諏訪内 晶子
Violin SUWANAI Akiko

コンサートマスター 木野 雅之
[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

*当初発表の内容から変更になりました。

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご希望の方は主催者までお申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助成 /

協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社

TANAKEN株式会社

ホッカンホールディングス株式会社

三井不動産株式会社 UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

PROFILE

Conductor

指揮

フランソワ・ルルー

François LELEUX



©ThomasKost

指揮者でありオーボエ奏者のルルーは、溢れんばかりの熱意と活力を持つことで知られる。2025/26年シーズンより、ポツダム・カンマーアカデミーの芸術監督、およびハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団の首席客演アーティストに就任した。これまでにカメラータ・ザルツブルクのアーティストック・パートナー、パリ室内管弦楽団のアーティスト・イン・アソシエーション、フランクフルト放送交響楽団、ストラズブル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルン交響楽団、ノルウェー室内管弦楽団、テネリフェ交響楽団などのアーティスト・イン・レジデンスとして活躍している。

2025/26年シーズンは、バンベルク交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市交響楽団、スタヴァンゲル交響楽団、アストゥリアス交響楽団、台湾国家交響楽団、ラハティ交響楽団、ハンブルク州立歌劇場管弦楽団、モンリオール・メトロポリタン管弦楽団などと共演する。

オーボエ奏者としては、ニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ブダペスト祝祭管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、NHK交響楽団等と共演している。また、室内楽にも熱心に取り組み、リサ・パティアシュヴィリ、エリック・ル・サーージュ、エマニュエル・シュトローサーと世界各地でリサイタルを行うほか、レ・ヴァン・フランセとしても活躍。

オーボエのレパートリーの拡大にも意欲的に取り組み、ニコラ・バクリ、ミカエル・ジャレル、ギャ・カンチェリ、ティエリー・ペコウ、ジル・シルヴェストリーニ、エリック・タンギーなどの作曲家に多数の新作を委嘱している。

最新録音は、ペンタトーン・レーベルからリリースされた、ミカエル・ジャレルの『アクアチント』やティエリー・エスケシュの『オーボエ、ヴァイオリンと管弦楽のための二重協奏曲』。現在ミュンヘン音楽大学の教授も務めている。



◀指揮者インタビューはこちらから
(6月東京定期プログラム掲載)

7月10日(金)公演は
プロコフィエフのみ
アーカイブ配信あり!



Member's TVU CHANNELにて配信
<https://members.tvu.com>



©TAKAKI KUMADA

Violin
ヴァイオリン

諏訪内 晶子
SUWANAI Akiko

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュ、グルギエフらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ロンドン響、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。

近年ではグルギエフ指揮ロンドン響とのツアー、パリ管とのヨーロッパおよび日本ツアー、チェコ・フィルとの中国ツアーを行い、オスロ・フィル、バンベルク響、デトロイト響、トゥールーズ・キャピトル管とも共演。

現代作曲家作品の紹介も積極的に行い、これまでにエサ=ペッカ・サロネン作曲「ヴァイオリン協奏曲」の日本初演(2013)、エリック・タンギ作曲「In a Dream」の世界初演およびフランス初演(2013)、キャロル・ベツファ作曲「ヴァイオリン協奏曲-A Floating World-」の世界初演(2014)などに取り組んでいる。

2012年、2015年エリーザベト王妃国際コンクール、2018年、2023年ロン・ティボー国際コンクール、2019年チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。

レコーディングでは、デッカ・ミュージック・グループとインターナショナル・アーティストとして専属契約を結んでおり、最新作「ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ集」を含む16枚のCDをリリースしている。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学び、2021年学術博士課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。

使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr.Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のガールネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。

解説:山崎 浩太郎

ベートーヴェンとプロコフィエフがそれぞれに創造した、人間の自由な精神への賛歌

世界的なオーボエ奏者として活躍するフランソワ・ルルーは、近年は指揮活動にも力を入れ、ヨーロッパ各地の交響楽団などとの共演を重ねている。日本フィルを初めて指揮したのは2022年のことで、その生彩あふれる演奏は聴衆だけでなく、楽員たちも魅了した。2024年にも再登場しており、早くも3度目の共演となる。

今回は、我が国が誇るヴァイオリニスト、諏訪内晶子との共演もききものだ。協奏曲のソリストとしての経験も豊富なルルーだけに、諏訪内のソロをどのように引き立ててくれるのか。音楽を通じての対話に注目したい。

後半はプロコフィエフの代表作、交響曲第5番。人間の自由な精神への賛歌として、今こそ聴いてほしいとルルーが演奏を切望した作品である。

ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の偉大さについて、多くを語る必要はないだろう。9曲の交響曲や16曲の弦楽四重奏曲、32曲のピアノ・ソナタなど、さまざまなジャンルに不滅の傑作を遺し、クラシック音楽のシンボルのような存在である。協奏曲のジャンルでは、ピアノ協奏曲は5曲完成したが、ヴァイオリン協奏曲は1曲しかない。しかしそのただ1曲が、ヴァイオリン協奏曲というジャンルの王者のような存在となっている。

当時の協奏曲は、作曲者自らが独奏して華麗な名人芸を披露するジャンルという傾向も強く、ピアノを得意としたベートーヴェンにヴァイオリン協奏曲が少ないのは、当然のことともいえる。とはいえ、このヴァイオリン協奏曲の前に9曲のヴァイオリン・ソナタを書き上げていただけに、この楽器の性質は熟知していた。

ウィーンのヴァイオリニスト、フランツ・クレメント(1780-1842)の依頼によって1806年に書かれ、同年にクレメントを独奏者としてウィーンで初演された。

クレメントがそのヴァイオリン・パートの作曲を助言、あるいは作曲に関与したのではないかと推測されるが、それが真実なのか、また真実であるとしてもどのような程度のものなのかは、判然としない。ベートーヴェンが両端楽章のカデンツァを書いていないのは、クレメントの自由に委ねたためと考えられる。一般的にはヨーゼフ・ヨアヒムやフリッツ・クライスラー作のカデンツァが用いられることが多い。

なお、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲には他に八長調WoO.5という、生地ボンにいた時期の1892年以前の初期作品が存在するが、第1楽章展開部の259小節までしか楽譜が残存していない。

【第1楽章】 アレグロ・マ・ノン・トロツポ 二長調、4分の4拍子。ソナタ形式。

ティンパニの4音連打の動機で開始される。この動機は交響曲第5番の「運命の動機」と同じように、全曲を構成する要素となっている。続いてオーボエなど木管楽器により第1主題がのびやかに提示され、その後分散和音による第2主題が決然と登場する。オーケストラの長い序奏に続いて独奏ヴァイオリンが登場した後、力強く展開部に入る。オーケストラが第1主題を演奏して再現部に入り、カデンツァをへて結ばれる。

【第2楽章】 ラルゲット ト長調、4分の4拍子。

弦楽の弱音で夢みるような主題が奏され、3つの変奏曲が続く。第1の変奏ではクラリネット、第2ではファゴット、第3でようやく独奏ヴァイオリンが主題を担当する。ベートーヴェン自身によるカデンツァがあり、そのまま第3楽章にアツカで続く。

【第3楽章】 アレグロ 二長調、8分の6拍子。ロンド形式のフィナーレ。

躍動感のあるロンド主題が独奏ヴァイオリンによって提示され、オーケストラが続く。独奏ヴァイオリンと各楽器との対話がさまざまにあり、途中では歌いあげるような、印象的な新しい旋律も現れる。その後ロンド主題が回帰し、カデンツァをへて全曲が華やかに力強くしめくられる。

楽器編成：独奏ヴァイオリン、フルート1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。

プロコフィエフ：交響曲第5番 変ロ長調 op.100

セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)は、ソビエト連邦時代の20世紀ロシアを代表する作曲家の一人だった。帝政ロシア時代のウクライナに生まれ、サンクトペテルブルクで学んだプロコフィエフの生涯は、時代と社会の激動に翻弄されるものとなった。早くから新進の作曲家・ピアニストとして期待されていたが、ロシア革命の混乱を避けるように1918年に出国。日本を経由して、1920～30年代にはアメリカやドイツ、フランスで活動した。西側でオペラ《三つのオレンジへの恋》と《炎の天使》、ピアノ協奏曲第3番のような意欲作を完成する一方で、ソ連の工業化を讃えるバレエ《鋼鉄の歩み》を作曲するなど、モスクワとパリを自由に往復し、政治体制への姿勢は柔軟だった。最終的には、ソ連への帰国を1936年に選び、モスクワで没した。

ソ連帰国後は、映画音楽に基づくカンタータ《アレクサンドル・ネフスキー》やオペラ《戦争と平和》のような愛国的な大作が称賛され、バレエ《ロメオとジュリエット》のような傑作も生み出したが、一方では交響曲第6番が形式主義的で不快だと批判されるなど、恐怖政治を敷くスターリン専制時代の文化政策に翻弄された。奇しくもスターリンと同じ1953年3月5日に亡くなっている。

交響曲は生涯に7つ完成している。1944年に完成された第5番は、そのなかで最も有名で、演奏機会の多い人気作である。第2次世界大戦の激戦のさなかに書かれ、「自由で幸福な人間、その偉大な力と、純粋で高貴な精神への賛歌」という、困難を克服しようとするベートーヴェンの力強い意志が音楽に反映されているからだろう。しかしけっして真面目一方ではなく、ユーモアやペーソスがときどき顔を現すのが、プロコフィエフの個性である。

初演は、第2次世界大戦の勝利を4か月後に控えた1945年1月13日に、モスクワで作曲家自身が指揮するソ連国立交響楽団によって行われ、絶賛の声に迎えられた。

【第1楽章】 アンダンテ 変ロ長調、4分の3拍子。ソナタ形式。

ゆったりとした導入で第1主題が提示され、さまざまな楽器に受け継がれて、しだいに緊張感を高める。興奮が静まったところで、ややシニカルな性格を持つ第2主題が木管によって提示される。各種の打楽器が鋭く打ち鳴らされ、ドラマチックに展開されていく。

【第2楽章】 アレグロ・マルカート 二短調、4分の4拍子。三部形式のスケルツォ。

スタッカートでリズムに跳ね、軽快にまた激しく躍動するトッカータ風の音楽。二長調のトリオもシニカル。

【第3楽章】 アダージョ ヘ長調、4分の3拍子。三部形式。

一転して静かにゆるやかに、薄布が風にひるがえるように流れていく緩徐楽章。中間部で緊張感と悲劇性をまし、自暴自棄の気配さえ感じさせながら、最後は哀しい夢のように過ぎていく。

【第4楽章】 アレグロ・ジョコーソ 変ロ長調、2分の2拍子。ロンド形式のフィナーレ。

短い導入に続いて第1楽章の主題が回想されたのち、細かく弾むようなリズムによる主部に入る。いちごっこをくり返すような動きのうちに、次第に緊張を高めて狂騒的に盛り上がり、一瞬静かになってからコーダとなる。

楽器編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、E♭管クラリネット1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、タムタム、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、タンバリン、ウッド・ブロック、ハープ、ピアノ、弦楽5部。

NEXT CONCERTS

>> 次回東京定期演奏会

第783回東京定期演奏会

2026年 9月11日(金) 19:00 開演
9月12日(土) 14:00 開演
サントリーホール

プレートク 山本 明尚氏 金曜日/18:30~
土曜日/13:20~

■1回券料金

S ¥10,000 A ¥8,500 B ¥7,500 C 売完 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

カーチュン・ウォン×日本フィル ショスタコーヴィチ第3弾

ショスタコーヴィチ:
交響曲第7番《レニングラード》
ハ長調 op.60



指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]
※当初の予定から指揮者が変更になりました。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

カーチュン・ウォン編

きき手 八木 宏之

——第783回東京定期演奏会では、来日が叶わなかったアレクサンドル・ラザレフさんの代役として、ウォンさんがショスタコーヴィチの交響曲第7番《レニングラード》を指揮されます。ウォンさんは2023年12月の第756回東京定期演奏会でもラザレフさんの代役として、ショスタコーヴィチの交響曲第5番を指揮されていますね。

私は首席指揮者として、日本フィルハーモニー交響楽団に対して強い責任感と揺るぎない思いを抱いています。かつての首席指揮者が出演できなくなった場合、聴衆の皆様を失望させることなく、またオーケストラが継続性を持って歩み続けられるよう、可能な限り代役を務めることが重要だと考えています。

マエストロ・ラザレフと日本フィルの関係は特別なものであり、オーケストラの芸術的アイデンティティの重要な一部をなしています。ロシア音楽のレパートリー、とりわけショスタコーヴィチの作品において、彼がこのオーケストラとともに築き上げたものに、私は計り知れない敬意を抱いているのです。ですから私にとって今回の代役は、オーケストラ、マエストロ・ラザレフ、そして長年にわたって日本フィルを支えてきたお客様への敬意を示す場でもあるのです。

——日本フィルにとって、ショスタコーヴィチは重要なレパートリーであり、ラザレフ時代から十八番といえるものでした。

私はショスタコーヴィチが日本フィルのDNAの一部になっていると強く感じています。もちろん、そのアイデンティティの大部分はマエストロ・ラザレフによって形作られました。日本フィルは、ショスタコーヴィチの音楽言語を深く理解し、これらのレパートリーに対して感情的な献身を示します。私たちがショスタコーヴィチと共に演奏するとき、私はこのオーケストラの集団的記憶のなかにあるものを呼び覚ましているように感じるのです。

——マエストロが日本フィルと取り組む3曲目のショスタコーヴィチの交響曲である第7番は、作曲家の戦争体験に基づく作品です。第1楽章展開部のいわゆる「戦争の主題」は、ショスタコーヴィチらしいアイロニーと仄めかしに満ちていますが、マエストロはこの主題をどのように解釈されていますか?

スターリン時代、ショスタコーヴィチは秘密警察に逮捕されることを常に恐れていました。彼は恐怖と不確実性のなかで生きた作曲家だったのです。それにもかかわらず、彼の音楽は決して弱々しいものではなく、そこには勇気があり、皮肉があり、人間性があります。その複雑さこそが、ショスタコーヴィチの音楽を感動的なものにしていただと思います。

「戦争の主題」はごく平凡なものとして始まり、徐々に恐ろしいものへと膨れ上がっていきます。あの反復的な行進曲は、特定の軍隊や思想、国家よりも、むしろ暴力そのものが持つ恐るべきメカニズムを描いているように感じられます。最初、この音楽はどこか滑稽で、表面的に聞こえます。オペレッタの引用や、機械的な反復は、グロテスクで不条理に感じられるでしょう。まさにそこに恐ろしさがあります。この交響曲における「悪」は英雄的に登場するのではなく、日常的に、機械的に、そしてほとんど人格を持たないかたちで現れるのです。この音楽は、暴力がいかにして、社会の内部で常態化していくのかを描いています。

——第7番で重要なのは、作品に描かれているレニングラード包囲戦をショスタコーヴィチ自身が実際に体験したという点です。そこには揺るぎのないリアリティがあります。

これはショスタコーヴィチにとって抽象的な歴史ではありません。レニングラードは彼の故郷であり、家族や隣人たちの暮らす場所であり、日常そのものだったのです。包囲戦の初期には、彼は消防隊に志願し、抵抗の象徴的存在となりました。ですから、この交響曲には、皮肉や政治的な含意の下に、非常に誠実なメッセージが存在しているように思います。それは、極限状態にあってもなお、市井の人々の尊厳を守ろうとする、ひとりの作曲家の姿です。

だからこそ、この交響曲は今日でも聴衆の心を強く揺さぶり続けるのでしょう。ソビエトの歴史を詳しく知らない聴き手であっても、そこに恐怖や疲労、希望や悲しみ、そして忍耐を見出すことができます。最終的に、この作品は政治を超越し、深く人間的な作品となっているのです。この交響曲の感情的な頂点は、実は最も静かな場面にあります。私は聴衆の皆様にも、第7番の悲劇性だけでなく、その人間性を感じ取っていただきたいと思っています。この交響曲は究極的には「生き延びること」を描いた作品であり、人々が歌い続け、記憶し続け、闇のなかにあってもなお人間であり続けることについての物語なのです。

第419回横浜定期演奏会

419th Yokohama Subscription Concert

2026年7月4日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール3:00p.m., Saturday, 4th July, 2026,
at Yokohama Minato Mirai Hall

オーケストラガイド 14:20~

八木 宏之 氏

90年生まれ。青山学院大学卒。愛知県立芸大大学院およびソルボンヌ
大学修士課程修了。Webメディア「FREUDE」を立ち上げ、プログラム
ノート等を執筆するほか、プレトークなども積極的に行う。

サン＝サーンス 歌劇《サムソンとデリラ》op.47より「バッカナル」(約9分)

Camille SAINT-SAËNS 'Bacchanale' from "Samson et Dalila" op.47

グリーグ ピアノ協奏曲 イ短調 op.16(約31分)

Edvard GRIEG Concerto for Piano and Orchestra in A-minor, op.16
I Allegro molto moderato
II Adagio
III Allegro moderato molto e marcato

休憩(15分) Intermission

チャイコフスキー 交響曲第6番《悲愴》口短調 op.74(約46分)

Pyotr TCHAIKOVSKY Symphony No.6 "Pathétique" in B-minor, op.74
I Adagio - Allegro non troppo
II Allegro con grazia
III Allegro molto vivace
IV Finale: Adagio lamentoso

指揮 西本 智実

Conductor NISHIMOTO Tomomi

ピアノ 實川 風

Piano JITSUKAWA Kaoru

コンサートマスター 木野 雅之[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。
ご要望の方は主催者までお申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助成 /

表紙イラスト / 小澤 一雄

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援 / tvk(テレビ神奈川)

協力 / 横浜みなとみらいホール

Conductor

指揮

西本 智実

NISHIMOTO Tomomi



©堀 隆弘

各国を代表する約30カ国のオーケストラ・名門国立歌劇場・国際音楽祭より招聘。

『平城遷都1300年記念公演』、『高野山開創1200年記念法要』、『日ブラジル外交関係樹立120周年』、北京大劇院『日中平和友好条約締結40周年』など歴史的演奏会に招聘。EXPO 2025 大阪・関西万博、ローマ教皇庁パピリオン／イタリアパピリオン 2か国のアンバサダー兼プロデューサーを務め、パチカンナショナルデー公式催事コンサート他イベントオーガナイズし、VATICAN NEWS を通じて世界に配信された。2013年より「パチカン国際音楽祭」へ招聘されている。

史上最年少で「Fondazione pro Musica e Arte Sacra名誉賞」授与、芸術監督を務めた「泉涌寺音舞台(2015年)」は【ニューヨークUS国際映像祭 TVパフォーマンス部門銀賞】【ワールドメディアフェスティバル ドキュメンタリー芸術番組部門銀賞】受賞、「東寺音舞台(2023年)」はUS International Awardsにおいて3部門受賞、令和6年度文化庁長官特別表彰など受賞多数。

日本を代表する芸術家としてドキュメンタリー番組がパチカン放送、CNN、ZDF、独仏共同テレビArte等で放送。「2030年イニシアティブ」メンバーとしてダボス会議より選出。

ハーバード大学公共政策大学院ケネディスクール「エグゼクティブ・エデュケーション」修了。国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) ムーンショット目標9「こころの安らぎや活力の増大」へ上席特任学術研究員として参画。学際的総合芸術を通じ、人類の幸福と社会の持続的発展への寄与に取り組んでいる。

大阪音楽大学客員教授、ビューティー&ウェルネス専門職大学客員教授ほか。



©Taira Tairadate

Piano
ピアノ

實川 風

JITSUKAWA Kaoru

幼少期より数々の国内コンクールで受賞を重ね、14歳でポーランド国立クラクフ管弦楽団と共演。2015年にはロン・ティボー国際コンクール(フランス)にて第3位(1位なし)、最優秀リサイタル賞、最優秀現代曲賞を受賞し、翌2016年にはカラーリョ国際ピアノコンクール(イタリア)で第1位を獲得。以後、イタリア各地でリサイタルを行い、高い評価を得る。ソリストとして幅広いレパートリーを持つ一方、近年はバッハ作品を演奏活動の中心に据え、チェンバロ演奏にも取り組むなど、独自の音楽世界を追求している。2023年にはキングレコードよりアルバム『Kaoru Jitsukawa plays BACH』をリリース。また作曲家としても活動し、「龍神喜雨」「青、風、記憶」などの委嘱作品を発表。

東京交響楽団、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、千葉交響楽団、神奈川フィル、群馬交響楽団、名古屋フィル、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団といった国内主要オーケストラに加え、パリ室内管弦楽団、キャンベラ管弦楽団など海外オーケストラとも共演を重ねる。別府アルゲリッチ音楽祭、上海音楽祭、ソウル国際音楽祭など国内外の音楽祭にも出演。東京藝術大学を首席で卒業後、同大学大学院およびグラーツ芸術大学ポストグラデュエートを修了。2024年より東京藝術大学器楽科ピアノ専任講師を務め、後進の育成にも力を注いでいる。

解説:小宮 正安

サン＝サーンス:歌劇《サムソンとデリラ》op.47より「バックナール」

19世紀後半のフランスにおいて、押しも押されぬ名声を築き上げたと言われるサン＝サーンス(1835-1921)。ただし、代表作である歌劇《サムソンとデリラ》は、その成立や受容に関して、多くの謎が付きまとっている。

1874年に完成されたものの、初演をめぐって問題が起こり、ようやく1877年に、ドイツ中部のワイマールで、しかも元々のフランス語の台本をドイツ語に翻訳したバージョンが初演された。(なお当作品が、フランスで初めて取り上げられたのは、1890年のことだった。)

実のところサン＝サーンスは、当時はオペラ作曲家として重要視されておらず、宗教音楽の分野で名声が高かった。だが彼は、自身がフランス音楽を発展させようと考え、オペラ作曲で成功を収めることを決意。こうして生まれた《サムソンとデリラ》は、古い聖書のストーリーを基にしつつも、人間の愛憎や感情を描き出す作品として、フランスのオペラ界に新たな時代を築き上げた。

本日演奏される「バックナール」は、ヘブライ人の怪傑サムソンがペリシテ人の妖女デリラに誘惑された挙句、捕らえられて両目を失うという惨事を体験する中、神殿でペリシテ人たちが自分たちの勝利を祝って踊る場面であられる。エキゾチックかつ官能的な旋律が、熱狂的なスピード感や鋭いリズム感を伴って盛り上がる、激情の結晶のごとき音楽である。

楽器編成:ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、ホルネット2、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、トライアングル、カスタネット、ハーブ、弦楽5部。

グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 op.16

19世紀後半のノルウェーを代表するピアニストおよび作曲家として活躍したエドヴァルド・グリーグ(1843-1907)。1868年に作曲され(ただしその後、何度も改訂がおこなわれた)『ピアノ協奏曲』は、グリーグの代表作というだけでなく、その名を一躍高めた初期の傑作であり、また彼が書いた唯一の協奏曲である。

全体は3つの楽章から成り、第1楽章は、ティンパニのトレモロに続いて、情熱的に激しく表れる独奏ピアノのフレーズをメインに曲が進んでゆく。第2楽章は、弱音器をつけた弦楽器が奏でる抒情的でノスタルジックな旋律が続き、それがようやく一区切りついた後でピアノが出現するという、「協奏曲」にしては異例の展開。さらにこれに続いて切れ目なく演奏される第3楽章は、前楽章と対照的に、アップテンポかつ民族舞踊を思わせるリズムに乗せて、独奏ピアノが奏でる熱を帯びたテーマと、中間部に現れる独奏フルートの叙情的なテーマが、最後には融合し合い壮大なクライマックスを築き上げる。

楽器編成:独奏ピアノ、フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、弦楽5部。

チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》 口短調 op.74 第392回横浜定期演奏会プログラムより転載

西ヨーロッパの高度な作曲技術を身につけたうえで、スラブ民族の血が通った情感豊かな旋律を用い、19世紀に一世を風靡した「国民楽派」の先をゆくロシア音楽の可能性を切り開いたピョートル・チャイコフスキー(1840-1893)。この曲はそんな彼が死を迎える1893年に書かれ、初演されている。すでに全ヨーロッパに名声を高めていた彼自身が、「私の一生で一番良い作だ」とたびたび語ったと伝えられている自信作となった。

なお《悲愴》という標題自体、チャイコフスキーの同意のもとで生まれたことが、最近の研究では分かってきている。初演の際のポスターにこそこの標題は記されていないものの、楽譜出版に際しては標題を付けてほしい、とチャイコフスキー自身が希望する手紙が残されているほど。

ただしその一方で、何かある特定の物語や聴き方をチャイコフスキーが切望していたわけでもなさそうだ。じっさい彼は甥のダヴィドフへの手紙に「(この交響曲には) 標題性があるが、それは誰にも謎であるべきで、想像できる人に想像させよう。この標題性はまったく主観的なものだ。私は旅行中にこれを作曲しながら幾度となく泣いた…」と書き送っている。

なおチャイコフスキーは、この曲が初演された直後の11月6日に急逝してしまう。そのあつけない人生の幕切れについては毒殺説もささやかれ、19世紀の交響曲の王道だった「苦闘の中から立ち上がり最後に勝利を掴む」という図式の真逆を行く当交響曲の暗く重い内容と相まって、多くの憶測を呼び起こすことになった。

【第1楽章】 アダージョーアレグロ・ノン・トロツポ

コントラバスが最弱音で出す虚ろな低音の上に、ファゴットがつぶやくように表れる陰鬱な導入部と、中間部に表れる威嚇的な激しさとの対象が印象的である。

【第2楽章】 アレグロ・コン・グラツィア

4分の5拍子という珍しいテンポを用いた、舞曲風の楽章。軽快な中にも、不安定な儂さが付きまとっている。

【第3楽章】 アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ

スケルツォと行進曲を合わせた活発で動きのある楽章。チャイコフスキーらしい華やかな音楽のオンパレードだが、異常なまでのハイテンションがかえって不安感をあおる。

【第4楽章】 アダージョーラメントーソ

一般の交響曲なら壮麗で快活に締めくくられるべき終楽章が、この上ない哀切さ、嘆き、苦悩で満たされている。悲しみや絶望を描きつくした幕切れに、チャイコフスキーは何を託したのか。

楽器編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2(バス・クラリネット持替1)、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、銅鑼、弦楽5部。

右肩下がりの?交響曲

解説でも書いたように、19世紀の交響曲においては「苦闘の中から立ち上がり最後に勝利を掴む」という図式が定番となる。

その先鞭をつけた代表的な存在こそが、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)。彼は、元々オペラや劇の開幕ベル替わりに演奏されていた交響曲(やがて交響曲は演奏会にも採り入れられるようになるが、第1楽章は演奏会の幕開け、最終楽章=フィナーレは演奏会のお開き=フィナーレを告げるための、いわば景気づけの音楽として、楽章もばらばらにされて用いられることが多かった)を大きく変える。結果、聴衆が集中して、しかもそこに人生の意味や哲学を聴きとることのできるような交響曲が、次々と書かれることとなった。

こうした交響曲のあり方は、それこそベートーヴェンが生きた19世紀初頭の、「クラシック音楽」の聴き手にぴたりとはまるものだった。当時のヨーロッパでは、王侯貴族をはじめとする特権階級の支配下から、市民階級が急速に台頭し始めた頃。彼らは裸一貫の状況から立ち上がり、様々な戦いや困難に直面しながら、自分の知恵と力で右肩上がりの人生をつかみ取ろうとした。またそのような彼らにとって、ベートーヴェン型の交響曲は、単に聴いて楽しいという以上に、彼らの心を奮い立たせる要素に満ちていた。

こうして市民階級が中心となった世界が19世紀のヨーロッパには花開くが、それもこの世紀の後半に差し掛かるとそれが行き詰まった。溢れるモノや情報を背景に物質的な豊かさこそ増したものの、その背後には公害、経済格差、金融恐慌など、「文明病」が拭い難く蔓延しつつあった。そうした中で、単純に右肩上がりの未来など、あるいはそれを無批判に想起させる音楽など、嘘くさくなっていった。

結果生まれたのが、チャイコフスキーの《悲愴》をはじめ、勝利の凱歌をあえて取り上げた交響曲だった。そしてそれらの哀愁や痛みで満ちた響きは、社会の成長が危うくなった時代の聴衆に寄り添い、彼らの傷をともに慰め合う存在と化したのである。

フランス革命の中、立ち上がる市民のイメージを描いた1枚。ボワイエ作(1792年)『サン・キュロットの衣装をした歌手ジュネール』▶



NEXT CONCERT

>> 次回横浜定期演奏会

第420回横浜定期演奏会

2026年9月19日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール

オーケストラガイド 小宮 正安氏

■1回券料金

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※Ys席:25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

ラフマニノフ:
ピアノ協奏曲第2番
ハ短調 op.18

ストラヴィンスキー:
バレエ音楽《春の祭典》

※当初発表の内容から変更になりました。



©Markus Henttonen

指揮: オッコ・カム



©Marco Borggreve

ピアノ: 河村 尚子

待ち望まれた再会は、甘美と衝撃の傑作で。

1972年の初共演以来、フィンランドの巨匠オッコ・カムと日本フィルが築いてきた絆が、創立70周年の横浜でよみがえります。日本フィルの内に息づく“フィンランドのDNA”を、深化させてきたカム。実に21年ぶりとなる待望の再会です。

前半は、河村尚子をソリストに迎え、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番をお届けします。甘美な旋律と濃密な響きが、聴く者の心の奥深くへと迫ります。後半は、20世紀の音楽史に衝撃を刻んだストラヴィンスキー《春の祭典》。圧倒的なエネルギーと躍動するリズムに満ちたこの傑作を、円熟のカムのタクトが鮮烈に描き出します。

長年の歩みを経て、さらに深みを増した巨匠の音楽が、日本フィルとともに再び響き合う特別なひととき。どうぞお聴き逃しなく!

PLAYBACK

4月~5月の公演を振り返ります

*日本フィルのライブ・アーカイブ配信は Member's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com



1 4月18日 コパケン・ワールド

大人気のコパケン・ワールド、たくさんのお客様にお越しいただきました! ソリストにはピアニストの清水和音さんをお迎えし、リストのピアノ協奏曲第1番とドヴォルジャークの交響曲第8番をお届けしました。次回は9月!



3 4月25日 横浜定期演奏会

70周年シーズン横浜定期も開幕。尾高忠明マエストロと前橋汀子さんとともにメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲、シベリウスの交響曲第5番ほかをお楽しみいただきました。アンコールの前には尾高マエストロから創立指揮者、渡邊先生への想いも語られました。



5 5月9日 横浜定期演奏会
5月10日 杉並定期演奏会

小林マエストロと小山実稚恵さんという盤石のコンビで、お届けしたオール・ベートーヴェン・プログラム。しかもピアノ協奏曲を2曲、聞き比べでお楽しみいただきました。



2 4月19日 がん患者さんが歌う第九チャリティコンサート

藤岡マエストロの指揮の元、200名を超える合唱団による力強い《第九》のフロイデコーラスがホールに響き渡りました。ソリストの皆さん、合唱を指導された先生方、そしてコンサド木野と。



4 5月1日 にじくら

平日午後2時からの「にじくら」は高橋克典さんのナビゲートで気軽に演奏会をお楽しみいただくシリーズです。今回ははじめて吉野直子さんを迎えてハープ協奏曲をお届けしました。ハイドンの協奏曲はオルガンよりハープが合う、と熱く語る鈴木マエストロでした。



6 5月16日 芸術シリーズ
5月17日 名曲コンサート*

「日本フィルの交響三題!」 藤岡幸夫マエストロとの、フィンランディア、チャイコフスキー5番、幻想交響曲、たくさんのお客様に見守っていただき、完走できました!



日本フィル自慢の鐘、こんな風に演奏しました▶

今後の日本フィル出演公演

2026年7月～9月

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
7月～8月	夏休みコンサート2026 18[土]14:00 千葉県文化会館 19[日]14:00 府中の森芸術劇場 20[月・祝]①13:00/②17:00 東京芸術劇場 22[水]14:00 杉並公会堂 ※お問い合わせ:杉並公会堂 24[金]①12:00/②15:30 サントリーホール 25[土]14:00 ソニックシティ(大宮) 26[日]①12:00/②15:30 横浜みなとみらいホール 29[水]14:00 ロームシアター京都 1[土]①12:00/②15:30 サントリーホール 2[日]①13:00/②17:00 東京芸術劇場 3[月]①12:00/②15:30 横浜みなとみらいホール	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] (7/18-26) 園田 隆一郎(7/29-8/3) お話とうた:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団 バレエ振付・演出:鈴木 稔 ＜第1部＞ 舞台へようこそ! チャイコフスキー: 歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「パロネーズ」 J.S.バッハ:G線上のアリア J.シュトラウスII世:美しく青きドナウ ＜第2部＞ チャイコフスキー:バレエ《くるみ割り人形》 (日本フィル夏休みコンサート2026版) ＜第3部＞ みんなで歌おう だれにだってお誕生日 「にじ」(新沢としひこ・作詞、中川ひろたか・作曲) 勇気100%	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	東北の夢プロジェクト2026 楽しいオーケストラin岩手 盛岡市民文化ホール 6[木]15:30	指揮:園田 隆一郎 司会:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団	日本フィルeチケット
	フェスタ サマーミュージア KAWASAKI 2026 ミュージア川崎シンフォニーホール 9[日]15:00	指揮:クリストフ・コンツ ヴァイオリン:周防 亮介 J.シュトラウスII世: 喜歌劇《こうもり》序曲 ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 ブラームス:交響曲第1番	お問い合わせ: ミュージア川崎 シンフォニーホール
	東北の夢プロジェクト2026 楽しいオーケストラin福島 いわき芸術文化交流館アリオス 11[火・祝]15:30	指揮:園田 隆一郎 司会:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団	日本フィルeチケット

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
9月	加藤昌則のぶつとび! クラシック講座スペシャル 「フランス人は サクソスが大好き!」 日本フィルハーモニー 交響楽団とともに贈る オーケストラ・レクチャー・ コンサート 長野市芸術館 30[日]14:00	講師・ナビゲーター:加藤 昌則 指揮:松井 慶太 サクソフォン:上野 耕平* プロコフィエフ: 組曲《ロミオとジュリエット》より 「モンタギュー家とキャピュレット家」 ビゼー: 《アルルの女》第2組曲よりメヌエット ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲『展覧会の絵』より「古城」 ドビュッシー:ラプソディ* 加藤昌則:新曲(世界初演)* ラヴェル:ボレロ	お問い合わせ: 一般財団法人 長野市文化芸術 振興財団
	にじクラ第11回 サントリーホール 2[水]14:00	指揮:角田 鋼亮 ヴァイオリン:前橋 汀子 ナビゲーター:高橋 克典 サン＝サーンス: 序奏とロンド・カプリツィオーソ マスネ:タイスの瞑想曲 ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》他	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	フレッシュ名曲コンサート サンパール荒川 5[土]14:00	指揮:大井 剛史 ヴァイオリン:水野 琴音 シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》	お問い合わせ: ACC(公財)荒川区 芸術文化振興財団
	第263回芸劇シリーズ 東京芸術劇場 6[日]14:00	指揮:大友 直人 ヴァイオリン:千住 真理子 モーツァルト: 歌劇《皇帝ティートの慈悲》序曲 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
第783回東京定期演奏会 サントリーホール 11[金]19:00 12[土]14:00	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ※当初の予定から変更になりました ショスタコーヴィチ: 交響曲第7番《レニングラード》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット	

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]
日本フィルeチケット ▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。 japanphil.or.jp





世代をつなぐ夏の音楽体験

日本フィルは毎年7月下旬から8月上旬にかけて、首都圏各地のホールで《夏休みコンサート》を開催しています。

「やわらかな感性を持つ子どもたちに、音楽のもつ力や素晴らしさを届けたい」そんな願いから1975年にスタートした夏休みコンサートは、今年で52回目を迎えます。これまでに延べ110万人を超える子どもたちとご家族にご来場いただき、日本フィルを代表する公演として親しまれてきました。

プログラムは、オーケストラの魅力を味わえる楽曲に加え、バレエや会場が一体となって楽しむ歌のコーナーなどで構成されています。子どもたちにとってオーケストラに親しむ場になるとともに、ご家族で楽しめるコンサートとして定着しています。公演当日にはロビーで、ウェルカムコンサートや出演者と交流できるイベントも開催しています。演奏を聴くだけでなく、音楽家をより身近に感じられる機会になっています。

また、このコンサートの大きな特徴は、世代を超えて受け継がれていることです。「子どもの頃に来たことがある」「今度は自分の子どもを連れてきた」そんな声をいただくことも少なくありません。親から子へ、子から孫へと音楽の思い出が受け継がれていることは、私たちにとって大きな喜びです。

さらに日本フィルでは、夏休みコンサートにあわせて大学生等を対象としたインターンシップも実施しています。公演づくりの現場を体験し、音楽文化を支える仕事への理解を深める機会となっています。

音楽との出会いは、その場で終わるものではありません。これからも夏休みコンサートを通して、子どもたちや次世代の担い手たちへ、音楽との出会いを届けていきます。

音楽の現場から

日本フィルの夏休みコンサートでは、毎年インターン生が運営に参加しています。ウェルカムコンサートなど、ロビーイベントの運営を通して、子どもたちと音楽家の出会いを間近で感じていただいています。

中には、幼い頃に日本フィルの公演に触れたことがきっかけで応募してくださる方や、インターン終了後に別の現場で再会する方など、一過性ではないつながりもあり、日本フィルの活動が世代や地域を超えて広がっていることを実感します。

インターンに参加する皆さんや、各地で音楽を楽しんでくださる方々との関わりを通して、音楽の種をまき、ともに育てていくことができるのかもしれない——そんなことを考えながら日々の業務に取り組んでいます。

音楽の森 スタッフ



©山口敦



©山口敦



<日程>

指揮：広上 淳一(7/18~26)、園田 隆一郎(7/29~8/3)
バレエ：スターダンサーズ・バレエ団
第2部振付：鈴木 稔
お話とうた：江原 陽子

<プログラム>

- 第1部 チャイコフスキー：歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」
パッハ：G線上のアリア
J.シュトラウス2世：美しく青きドナウ
- 第2部 チャイコフスキー：バレエ《くるみ割り人形》
(夏休みコンサート2026版)
- 第3部 みんなで歌おう
だれにだってお誕生日
「にじ」(新沢としひこ・作詞、中川ひろたか・作曲)
勇気100%

<日程>

7月 18日(土)	14:00	千葉県文化会館
19日(日)	14:00	府中の森芸術劇場
20日(月・祝)	13:00 & 17:00	東京芸術劇場
24日(金)	12:00 & 15:30	サントリーホール
25日(土)	14:00	ソニックシティ(大宮)
26日(日)	12:00 & 15:30	横浜みなとみらいホール
29日(水)	14:00	ロームシアター京都
8月 1日(土)	12:00 & 15:30	サントリーホール
2日(日)	13:00 & 17:00	東京芸術劇場
3日(月)	12:00 & 15:30	横浜みなとみらいホール

料金

【全席指定・消費税込】
※子供=4歳~高校生

【首都圏公演】

【大人】S¥5,800 A¥4,800 B¥3,800
【子供】S¥3,800 A¥2,800 B¥2,000

【京都公演】

京都【大人】A¥4,200 B¥3,200
京都【子供】A¥2,500 B¥1,800

チケット好評販売中

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でも視聴いただけます(特に記載のないものは販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

第777回 東京定期演奏会 | 2026年1月17日(土)

指揮: 広上 淳一
シヨスタコーヴィチ: 交響曲第15番 イ長調 op.141

第414回 横浜定期演奏会 | 2026年1月24日(土)

指揮: ヴァイオリン: ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク
ベートーヴェン: 《献堂式》序曲 モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第3番 他

第415回 横浜定期演奏会 | 2026年3月21日(土)

指揮: 小林 研一郎 クラリネット: 伊藤 寛隆
モーツァルト: クラリネット協奏曲 ベートーヴェン: 交響曲第3番《英雄》

第779回 東京定期演奏会 | 2026年4月10日(金)

指揮: カーチュン・ウォン ソプラノ: 森谷 真理 メゾソプラノ: 林 美智子 テノール: 村上 公太
バリトン: 大西 宇宙 合唱: 晋友会合唱団
ベートーヴェン(マラー「修正版」): 交響曲第9番《合唱》

第413回 名曲コンサート | 2026年5月17日(日)

指揮: 藤岡 幸夫
シベリウス: 交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー: 交響曲第5番
ベルリオーズ: 幻想交響曲

第781回 東京定期演奏会 | 2026年6月6日(土)

指揮: 広上 淳一 ヴァイオリン: 服部百音
ガーシュウィン: 《パリのアメリカ人》
ファジル・サイ: ヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》 コーブランド: 交響曲第3番

1か月
アーカイブ 7/5
まで販売

創立70周年記念特別演奏会 | 2026年6月22日(月)

出演: カーチュン・ウォン(指揮) 他
マラー: 交響曲第8番《千人の交響曲》

1か月
アーカイブ 7/21
まで販売

芸劇シリーズ 秋冬2公演セット券

好評販売中

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

■ 芸劇シリーズ2公演セット

S席セット ¥12,000 A席セット ¥10,000

① 第264回芸劇シリーズ

1回券発売日: 7月7日(火)

2026年11月1日(日) 14:00

東京芸術劇場

指揮: 小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]
オーボエ: 杉原 由希子 [首席奏者]
クラリネット: 伊藤 寛隆 [首席奏者]
ホルン: 信末 碩才 [首席奏者]
ファゴット: 田吉 佑久子 [首席奏者]
モーツァルト: ディヴェルティメント 二長調 K.136
モーツァルト: 協奏交響曲 変ホ長調
(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための)
K.297b
ベートーヴェン: 交響曲第7番 イ長調 op.92



◎山本 倫子



◎井村 重人



◎井村 重人



◎井村 重人



◎井村 重人

1回券 | S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500
料金 | Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500

② 第267回芸劇シリーズ

1回券発売日: 9月16日(水)

2027年1月10日(日) 14:00

東京芸術劇場

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者]
トランペット: 児玉 隼人
ハチャトゥリアン: 組曲《仮面舞踏会》
ハイドン: トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIle:1
J.シュトラウスII世: 喜歌劇《こうもり》序曲
J.シュトラウスII世: ワルツ《美しく青きドナウ》op.314
ラヴェル: 《ダフニスとクロエ》第2組曲



◎Ayane Sato



◎Yuji Ueno

1回券 | S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500
料金 | Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500

【お申込み・お問い合わせ】日本フィルチケット♪ [席を選んでお申込できます] <https://eticket.japanphil.or.jp>
日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 (平日10時~17時)



咲かせよう、
まだない
キレイを。



想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島

株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411 www.utena.co.jp

解体ってただ壊せばいいって
わけじゃないんです。

だから解体は TANAKEN



TANAKEN株式会社

〒105-7309

東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

TEL:03-6264-5520 FAX:03-6264-6405

コーポレートサイト

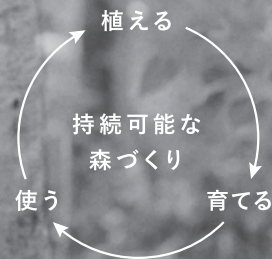


ブランドサイト



木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんです。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植えるー育てるー使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん



◀三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう



三井不動産グループ保有林 北海道 深川市湯内

ストーリーを変える、 ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform
Tomorrow
Today

おいしい笑顔は、
誰が抜けてもつukれない。



ハウスのおいしさは、ハーモニーだ。

スパイスや素材を育てる人。

おいしさを研究する人、つくる人。

お店など、さまざまな場所へ届ける人。

サステナブルな活かし方を考える人。

みんながつながって、幸せな未来を奏でる。

食卓に響く「いただきます」が、
今日も笑顔であるように。

おいしさは、一点の曇りもない笑顔を
つくるものであってほしいから。



つくろう、未来の笑顔。



 *House* ハウス食品グループ

ハウス食品グループの
CMおよび
様々な活動はこちら▶



ハウス食品グループ | Q



最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂

Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社: (株) 京王設備サービス

日本フィルハーモニー交響楽団 [秋冬] 70周年記念特別東京定期演奏会

会場/サントリーホール(10月~12月)
東京芸術劇場(1月、3月)
金曜日/19:00開演
土曜日/14:00開演

2026 10 October	【第784回】 サントリーホール 16日(金)、17日(土) 【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮: 山田 和樹 ヴァイオリン: ヴィルデ・フラング 間宮芳生: 二重奏協奏曲 * 日本フィル・シリーズ第16作 バルトーク: ヴァイオリン協奏曲第2番 チャイコフスキー: 交響曲第6番《悲愴》
2026 11 November	【第785回】 サントリーホール 13日(金)、14日(土) 【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮: 小林 研一郎(桂冠名誉指揮者) スメタナ: 連作交響詩《我が祖国》全曲
2026 12 December	【第786回】 サントリーホール 4日(金)、5日(土) 【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮: 沖澤 のどか ピアノ: 阪田 知樹 レーガー: ピアノ協奏曲 ブラームス: 交響曲第2番
2027 1 January	【第787回】 東京芸術劇場 29日(金)、30日(土) 【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮: カーチン・ウォン[首席指揮者] ブルクナー: 交響曲第8番
2027 3 March	【第788回】 東京芸術劇場 12日(金)、13日(土) 【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮: ピエタリ・インキネン ピアノ: アレクサンドル・メルニコフ ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 R. シュトラウス: 交響詩《英雄の生涯》

半期秋冬定期会員券(2026年10月~2027年3月/全5回) 好評販売中
S席 ¥35,000 A席 ¥30,000 B席 ¥26,000 C席 ¥21,000 P席 ¥17,000 Ys席 ¥9,000
Ys席: 25歳以下の方が対象で、S席以外からお選びいただけます。

秋冬【1回券】
2026年
7月15日(水) 発売

日本フィルハーモニー交響楽団 [秋冬] 70周年記念特別横浜定期演奏会

会場/横浜みなとみらいホール
土・日曜日/15:00開演
(11月のみ日曜開催)

2026 10 October	【第421回】 31日(土) 【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮: 小林 研一郎(桂冠名誉指揮者) オーボエ: 杉原 由希子[首席奏者] クラリネット: 伊藤 寛隆[首席奏者] ホルン: 信木 慎才[首席奏者] ファゴット: 田吉 佑久子[首席奏者] モーツァルト: ディヴェルタメント 二長調 K.136 モーツァルト: 協奏交響曲 変奏長調(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための) K.297b ベートーヴェン: 交響曲第7番
2026 11 November	【第422回】 22日(日) 【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮: カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ: サー・ステイーヴン・ハフ ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス: 交響曲第3番《オルガン付き》
2026 12 December	【第423回】 19日(土) 【1回券】 S席 ¥10,000 A席 ¥9,000 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 合唱団 Ys席 ¥4,000	指揮: 阪 哲朗 ソプラノ: 隈岐 彩夏 カウンターテナー: 藤木 大地 テノール: 小堀 勇介 バリトン: 池内 響 合唱: 東京音楽大学合唱団 オルガン: 勝山 雅代 JS/P: ハトリカクタとフーガニ短調 BWV565 他(オルガン独奏3曲) ベートーヴェン: 交響曲第9番(合唱)
2027 1 January	【第424回】 9日(土) 【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮: カーチン・ウォン[首席指揮者] トランペット: 児玉 隼人 ハチャツクリン: 組曲《仮面舞踏会》 ハイデン: トランペット協奏曲 変奏長調 Hob.VIIc:1 J. シュトラウスII世: 喜歌劇《こらもり》序曲 J. シュトラウスII世: ワルツ《美しく青きドナウ》 ラヴェル: 《タフニスとクロエ》第2組曲
2027 3 March	【第425回】 27日(土) 【1回券】 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮: カーチン・ウォン[首席指揮者] ヴァイオリン: 田野倉 雅秋[ソロ・コンサートマスター] ポロディン: 歌劇《イーゴリ公》序曲 ハチャツクリン: ヴァイオリン協奏曲 二短調 ムソルグスキー: (リムスキー＝コルサコフ編曲): 交響詩《はげ山の一夜》 レスピーギ: 交響詩《ローマの松》

半期秋冬定期会員券(2026年10月~2027年3月/全5回) 好評販売中
S席 ¥34,000 A席 ¥29,000 B席 ¥25,000 C席 ¥21,000 P席 ¥14,000(12月を除く全4回) Ys席 ¥9,000

秋冬【1回券】
2026年
7月15日(水) 発売

【お申込み】日本フィル・サービスセンター TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)
eチケット♪ [席を選んで申し込みできます] <https://eticket.japanphil.or.jp/> で検索

日本フィルを支えてくださる皆様に、心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたくと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額
をメール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページもご覧ください。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

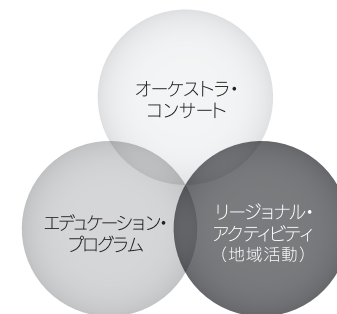


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

特別会員

木下哲税理士事務所 代表社員 木下 哲
三井住友信託銀行株式会社 名誉顧問 北村 邦太郎

パトロネージュ

島田 和子 東京都 / 匿名1名

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。宛先は左のページをご覧ください。

パトロネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費:1万円

特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。
寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。
お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

アース製薬株式会社
代表取締役社長 CEO 川端 克宜

アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫

赤坂維新號 代表取締役会長 鄭 東静

あすか製薬株式会社
代表取締役社長 山口 惣大

株式会社アトックス
代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤 孝

株式会社アダービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司

イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世

株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介

株式会社泉放送制作
代表取締役社長 日下部恵一

磯野不動産株式会社
代表取締役社長 磯野 計一

稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎

株式会社インフォーマート
代表取締役社長 中島 健

ウエルシア薬局株式会社
代表取締役社長 田中 純一

株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇

宇部エクシモ株式会社
代表取締役社長 福永 謙二

株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美

ABCシステム株式会社
代表取締役社長 児玉 光宏

株式会社エイブル&パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂

株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫

NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔

株式会社エルイーテック
代表取締役社長 坂田 洋一

エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕

株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦

鹿島建設株式会社
代表取締役会長兼社長 押味 至一

鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄

鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治

株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎

株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋 太

株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正

株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂

社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文

川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己

北野建設株式会社
代表取締役会長兼社長 北野 貴裕

キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎

木下哲税理士事務所 代表社員 木下 哲

キャノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫

キヨーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮 満

共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩

キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長COO 南方 健志

株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次

グローブシップ株式会社
代表取締役社長 矢口 敏和

京王重機整備株式会社
代表取締役社長 寺田雄一郎

株式会社京王設備サービス
取締役社長 梁瀬 哲夫

京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和

株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸

株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫

コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄

株式会社コンサートサービス
代表取締役 佐藤 修悦

佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一

三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一

山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 鳥井 信宏

三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸

株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三

株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎

清水建設株式会社 代表取締役社長 新村 達也

株式会社集英社 代表取締役社長 林 秀明

株式会社シエルトー 代表取締役会長 木村 一義

ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也

株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮

株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳 秀樹

杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健

住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス
代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一

株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子

大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原 茂

大日本除虫菊株式会社
代表取締役社長 上山 直英

大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久

高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人

TANAKEN株式会社
代表取締役社長 中尾 安志

千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田 裕之

千代田化工建設株式会社
代表取締役社長 太田 光治

株式会社千代田テクノル
代表取締役会長 細田 敏和

株式会社中央デパート
代表取締役社長 木村 和貴

塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清

ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガカケノメイ

学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史

株式会社T&Aマネジメント
代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博
株式会社電通 代表取締役社長執行役員 松本 千里
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 速川 智行
東京海上日動火災保険株式会社 取締役社長 城田 宏明
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 細包 憲志
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸
戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則
学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎
株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司
株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一
日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩
株式会社ニフコ 代表取締役社長 柴尾 雅春
日本精工株式会社 取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊
日本製鉄株式会社 代表取締役社長 今井 正
日本電子株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 大井 泉
日本パーカライジング株式会社 代表取締役社長 萩原 吉晃
株式会社ネイチャーズウェイ 代表取締役社長 萩原 吉晃
根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子

ハウス食品グループ本社株式会社 代表取締役社長 浦上 博史
株式会社博報堂 代表取締役社長 名倉 健司
株式会社パッファロー 代表取締役社長 牧 寛之
ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎
阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一
税理士法人ヒイラギ 代表社員税理士 黒田 榮治
東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹
株式会社美禅 代表取締役 堀 哲昭
非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ 代表取締役社長 清水 雄也
株式会社ファミーコ 代表取締役 新庄真帆子
富国生命保険相互会社 代表取締役社長 渡部 毅彦
富士テレコム株式会社 代表取締役社長 土井 寛
一般財団法人藤本育英財団 理事長 藤本由紀子
古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真
株式会社フルヤ金属 代表取締役 古屋 堯民
合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社 代表取締役社長 池田 孝資
株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長 吉村 隆
マネックスグループ株式会社 代表執行役社長CEO 清明 祐子
株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よるず 取締役社長 中村 正博
丸文株式会社 代表取締役社長兼最高経営責任者 堀越 裕史
丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕
三井住友信託銀行株式会社 名誉顧問 北村邦太郎
三井倉庫ホールディングス株式会社 代表取締役社長 古賀 博文
三井不動産株式会社 代表取締役会長 菰田 正信
三菱HCキャピタル株式会社 代表取締役社長執行役員 久井 大樹
三菱オートリース株式会社 代表取締役社長 高井 直哉
三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 伊佐早禎則
三菱総研DCS株式会社 代表取締役社長 亀田 浩樹
三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤
三菱重工業株式会社 取締役会長 泉澤 清次
三菱倉庫株式会社 代表取締役社長 斉藤 秀親
株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社 取締役社長兼CEO 関 浩之
武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社 取締役代表執行役社長 永島 英器
メッドサポートシステムズ株式会社 代表取締役 谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス 代表取締役社長 我妻まどか

森社会保険労務士事務所 所長 森 康之
株式会社ヤクルト本社 終身名誉会長 堀 澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社 取締役会長 泉原 雅人
ユウキフーズシステム株式会社 代表取締役社長 田中 秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介
リガク・ホールディングス株式会社 代表取締役社長 川上 潤
株式会社リョーサン 代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦
株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広
株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也
ローム株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 東 克己

匿名5名

青山やすし 東京都	岩瀬 順子 神奈川県	加藤 丈夫 東京都	佐藤 寛之 東京都	田中稀一郎 東京都	西谷 公男 東京都	松村 美希 東京都	横川 直 東京都
秋元 和美 東京都	岩田 達明 神奈川県	加藤 久喜 東京都	佐藤 正昭 東京都	田仲 博幸 東京都	西村 醇子 神奈川県	真野美千代 東京都	吉江 健志 千葉県
明田 重樹 東京都	上田 泰邦 東京都	加藤 頼宣 東京都	佐藤 正知 東京都	田辺三基男 東京都	二村 英之 東京都	三木恵美子 神奈川県	吉川 美保 東京都
浅野 純次 埼玉県	上野悦子・陽子 東京都	金子 修 埼玉県	佐藤 順英 福島県	田村 一 山梨県	布村 清美 東京都	三木 繁光 東京都	吉田 貴美 神奈川県
朝吹 英和 東京都	宇賀神裕子 静岡県	金子 清 千葉県	座間 淑美 神奈川県	田村 浩章 東京都	沼口 順子 東京都	峯島 茂之 東京都	吉田 公彦 神奈川県
厚田 理郎 東京都	臼井 潤 東京都	金子 肇 千葉県	澤井 敏雄 東京都	塚本 和久 東京都	根本 直之 千葉県	宮川 和哉 神奈川県	吉田 知世 東京都
阿部 俊彰 神奈川県	内村 恒彦 神奈川県	香山 和子 神奈川県	島田 和子 東京都	辻 雅夫 東京都	野谷 文昭 東京都	宮地 直紀 東京都	吉村 真幸 埼玉県
新井 康允 神奈川県	江口 麗子 東京都	川合 孝一 千葉県	島田 精一 東京都	蔦井 厚伸 東京都	箱崎 一彦 千葉県	宮本 裕二 兵庫県	吉村 匡則 東京都
荒木 秀隆 東京都	大久保 昇 神奈川県	菅野 治幸 神奈川県	島田 晴雄 東京都	津田 義久 東京都	蓮見 正純 東京都	村上 純子 埼玉県	若林 昭子 東京都
荒蒔康一郎 東京都	大竹 広明 神奈川県	菊池 和美 東京都	清水 幸雄 東京都	常石 博之 東京都	原 俊 千葉県	村上 洋美 東京都	渡辺 和子 東京都
有江 純子 神奈川県	太田 達男 千葉県	喜多菟久江 東京都	下河辺美知子 神奈川県	積田 孝一 東京都	原 幸男 静岡県	村上 泰郎 東京都	渡邊規久雄 東京都
安西祐一郎 東京都	大塚 宣夫 東京都	北村 裕 神奈川県	下田 英一 東京都	一般社団法人 東京フロイデ合唱団 東京都	針谷 博史 東京都	村上 泰大 神奈川県	渡邊 直 東京都
飯田 桂子 東京都	大坪 昌広 東京都	木下 盛弘 東京都	生島 貴司 千葉県		日高 好男 東京都	持田 泰 東京都	渡邊 裕志 山梨県
飯田 百栄 東京都	大森 京太 東京都	木村 恵司 神奈川県	菅 千太郎 東京都		平井 邦子 神奈川県	元永 徹司 神奈川県	Maru
家近 茂 東京都	岡田 尚子 埼玉県	久野 哲男 千葉県	菅 千太郎 東京都	東瀬 朗 新潟県	平田 邦夫 神奈川県	森 稔樹 神奈川県	M.K.
家近 信子 東京都	岡田 雅史 神奈川県	久保田伸一 群馬県	杉本 功 東京都	時枝 直満 東京都	広瀬 晴子 神奈川県	森川 智之 神奈川県	匿名66名
五十嵐重雄 東京都	荻窪祝祭管弦楽団 東京都	倉谷 宏樹 東京都	杉山 秀子 東京都	徳田 陽一 東京都	廣田 直人 東京都	森田 大輔 神奈川県	
池浦 慧 東京都		栗原真知子 埼玉県	杉山 浩明 東京都	外山 雄三 東京都	深沢 茂実 神奈川県	森田ハルヨ 東京都	
池田 博 東京都	尾澤 弘久 東京都	黒田 真二 神奈川県	鈴木 祐二 東京都	中尾 誠利 神奈川県	深見 敏正 東京都	矢口 敏和 千葉県	
池野 隆光 東京都	尾上 洋子 東京都	畔柳 信雄 東京都	住野 公一 東京都	ナガオカケンメイ 東京都	福井 英次 東京都	矢倉 俊紀 東京都	
池谷 光司 東京都	小野寺けい子 岩手県	甲賀 一宏 埼玉県	関 兼英 東京都	中島 奈穂 東京都	福田 昭夫 東京都	山上 典彦 東京都	
石澤 卓志 千葉県	小野寺健一 岩手県	胡口 靖夫 東京都	妹尾 絲子 東京都	中島美知子 東京都	藤沢 薫 東京都	山岸 陽子 東京都	
石塚 邦雄 東京都	小幡 尚孝 東京都	小林 和夫 東京都	仙石 通泰 東京都	長瀬 雅則 東京都	藤野 盾臣 東京都	山口 幸子 東京都	
石津 寿恵 東京都	小原 道生 東京都	小林こずえ 東京都	宗 神子 大分県	中園 和博 東京都	藤原 真也 東京都	山口 仁栄 東京都	
石橋 秀雄 神奈川県	折田 昌子 東京都	小林 政雄 長野県	染野 郁郎 東京都	中西 祥子 東京都	星 桂太郎 東京都	山口 岳彦 栃木県	
伊藤 貴博 東京都	風間 沙織 神奈川県	小林 裕美 東京都	空田 幸徳 東京都	永野 琢夫 東京都	細谷 義徳 千葉県	山口 達之 長崎県	
伊藤 昌司 東京都	賀澤 裕三 福島県	駒見 俊彦 東京都	高井 延幸 神奈川県	中村 公一 東京都	牧野 澄夫 東京都	山口みどり 東京都	
伊藤 好彦 東京都	片貝 英重 東京都	五味 康昌 神奈川県	高木 宏忠 東京都	中山 彩 東京都	増井 俊之 神奈川県	山越 章弘 長野県	
井上 直人 東京都	片山 英二 東京都	齋藤 武則 東京都	高須 幸雄 東京都	那須 雄治 東京都	増田 文彦 神奈川県	山田 敏之 神奈川県	
井上 浩良 東京都	片山 茂 千葉県	坂井 康柄 神奈川県	高田 信子 東京都	棗 年紀・綾 東京都	町田 公志 東京都	山田 宏己 東京都	
井上 正敏 千葉県	桂 史子 東京都	定形 哲 神奈川県	竹下 淑子 神奈川県	新倉 啓介 東京都	松尾 東京都	山本 高稔 東京都	
岩沙 弘道 東京都	加藤 壹康 静岡県	佐藤 武男 東京都	竹中富知男 東京都	西澤 豊 東京都	松田 譲 東京都	油井 直次 東京都	

■ 新入団のお知らせ

2026年7月1日付でファゴット・セクションに阿部和輝が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

■ もうすぐ発売

2026-2027秋冬東京定期演奏会1回券 2026-2027秋冬横浜定期演奏会1回券	発売日:・7月15日(水)
--	---------------

詳しくはP33をご覧ください

第415回名曲コンサート 2026年11月21日(土)14:00	発売日:7月23日(木) サントリーホール
-------------------------------------	--------------------------

指揮:カーチュン・ウオン[首席指揮者] ピアノ:サー・スティーヴン・ハフ
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》

S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥4,500
Ys席(25歳以下) ¥2,500 Gs席(70歳以上) ¥6,000



あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の・・・知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!!

映画プロデューサーであり、日本フィルの評議員となりクラシックの沼にはまりつつある村上典史子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道がお答えします。親しみやすく、さまざまな切り口でクラシック音楽の扉を開きます。

- ①毎月10日・20日の19時 日本フィルのSNSで公開!
- ②ロングバージョン「2分わかる大人のためのオーケストラ入門Plus+」をYoutube公開

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

6月の東京・横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略) 匿名11名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。 ※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。 ※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日10時~17時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp



©飯田 耕治

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。

創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。創立期から始められた「日本フィル・シリーズ」は、日本の音楽史上でも例のない委嘱制度として三善晃、武満徹、細川俊夫ら多彩な邦人作曲家へ新作委嘱を行ってきた。シリーズは42作にまで至り、その中には今日「古典」として定着した作品も少なくない。

2023年9月よりカーチュン・ウオンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に東京・横浜・杉並・さいたま・相模原での定期演奏会をはじめ年間約150回のオーケストラ公演を行う。

1975年から続く夏休みコンサートは親子三代で楽しめるファミリーコンサートの草分け的存在。学校や介護施設等への訪問コンサートは年間約200回に及ぶ。音楽との出会いの場を広げる創造・体験型ワークショップは、日本のオーケストラにおける先駆的な活動として注目されている。

また、全国各地で地域と協働しながら音楽を通じたコミュニティの活性化と、地域文化の発展を目指す長期的な活動も積極的に行っており、特に九州全県で行う九州公演は1975年よりその歴史を刻む。また、1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とし、「杉並定期演奏会」や「60歳からの楽器教室」など地域に密着した活動を展開している。

さらに東日本大震災の直後、2011年4月より「被災地に音楽を」を開始。その数は360回を超える。これらが「若い世代への未来への希望を育てている」ことに対し、2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

指揮者

Conductor

創立指揮者	渡邊 暁雄 WATANABE Akeo
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎 KOBAYASHI Ken-ichiro
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン Lukács ERVIN
名誉指揮者	ジェームズ・ロツホラン James LOUGHRAN
客員首席指揮者	ネーム・ヤルヴィ Neeme JÄRVI
首席指揮者	カーチュン・ウオン Kahchun WONG
桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ Alexander LAZAREV
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一 HIROKAMI Junichi

コンサートマスター

Concertmaster

			
ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋 OGITANI Yasutomu	ソロ・コンサートマスター 木野 雅之 KINO Masayuki	ソロ・コンサートマスター 田野倉 雅秋 TANOKURA Masaaki	アシスタント・コンサートマスター 千葉 清加 CHIBA Sayaka

第1ヴァイオリン

1st Violin

					
伊藤 太郎 ITO Taro	太田 麻衣 OTA Mai	九鬼 明子 KUKI Akiko	齋藤 政和 SAITO Masakazu	榊 渚 SAKAKI Nagisa	
					
竹歳 夏鈴 TAKETOSHI Karin	谷崎 大起 TANIZAKI Hiroki	田村 昭博 TAMURA Akihiro	中谷 郁子 NAKAYA Ikuko	西村 優子 NISHIMURA Yuko	平井 幸子 HIRAI Sachiko

第2ヴァイオリン

2nd Violin

				
遠藤 直子 ENDO Naoko	大貫 聖子 ONUKI Seiko	岡田 紗弓 OKADA Sayumi	神尾 あずさ KAMIO Azusa	佐藤 駿一郎 SAITO Shun-ichiro
				
末廣 紗弓 SUEHIRO Sayumi	豊田 早織 TOYODA Saori	町田 匡 MACHIDA Tadashi	松川 葉月 MATSUKAWA Hazuki	山田 千秋 YAMADA Chitose

ヴィオラ

Viola

				
客演首席奏者 安達 真理 ADACHI Mari	江藤 史織 ETO Shiori	小俣 由佳 OBATA Yuka	小中澤 基道 KONAKAZAWA Motomichi	児仁井 かおり KONII Kaori
				
高橋 智史 TAKAHASHI Satoshi	中川 裕美子 NAKAGAWA Yumiko	中溝 とも子 NAKAMIZO Tomoko	松澤 稚奈 MATSUZAWA Wakana	

ソロ・チェロ

Solo Violoncello

	
門脇 大樹 KADOWAKI Hiroki	菊地 知也 KIKUCHI Tomoya

チェロ

Violoncello

				
石崎 美雨 ISHIZAKI Miu	伊堂寺 聡 IDOJI Satoshi	江原 望 EHARA Nozomu	大澤 哲弥 OSAWA Tetsuya	久保 公人 KUBO Masato
				
篠原 和仁 SHINOHARA Kazuhito	山田 智樹 YAMADA Tomoki			

コントラバス

Contrabass

				
鈴木 優介 SUZUMURA Yusuke	成澤 美紀 NARUSAWA Mikiko	宮坂 典幸 MIYASAKA Noriyuki	森田 麻友美 MORITA Mayumi	山口 雅之 YAMAGUCHI Masayuki

フルート

Flute

		
首席奏者 真鍋 恵子 MANABE Keiko	斎藤光晴 SAITO Mitsuharu	難波 薫 NAMBA Kaoru

オーボエ

Oboe



首席奏者
杉原 由希子
SUGIHARA Yukiko



副首席奏者
松岡 裕雅
MATSUOKA Hiromasa



佐竹 真登
SATAKE Masato

クラリネット

Clarinet



首席奏者
伊藤 寛隆 (楽団長)
ITO Hiroataka



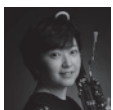
副首席奏者
楠木 慶
KUSUNOKI Kei



照沼 夢輝
TERUNUMA Yumeki

ファゴット

Bassoon



首席奏者
田吉 佑久子
TAYOSHI Yukuko



客演首席奏者
阿部 和輝 □
ABE Kazuki



鈴木 一志
SUZUKI Hitoshi



中川 日出鷹
NAKAGAWA Hidetaka

ホルン

Horn



客演首席奏者
丸山 勉
MARUYAMA Tsutomu



首席奏者
信末 碩才
NOBUSUE Sekitoshii



伊藤 舜
ITO Shun



原川 翔太郎
HARAKAWA Shotaro



村中 美菜
MURANAKA Mina

ソロ・トランペット

Solo Trumpet



オッタビアーノ・
クリストーフォリ
Ottaviano CRISTOFOLI

トランペット

Trumpet



首席奏者
大西 敏幸
ONISHI Toshiyuki



副首席奏者
犬飼 伸紀
INUKAI Nobuki



星野 究
HOSHINO Kiwamu

トロンボーン

Trombone



首席奏者
伊藤 雄太
ITO Yuta



副首席奏者
笠間 勇登
KASAMA Yuto



福島 莉那
FUKUSHIMA Hana

バス・トロンボーン

Bass Trombone



中根 幹太
NAKANE Mikita

ティンパニ

Timpani



首席奏者
エリック・パケラ
Eric PIEKARA



副首席奏者
池田 健太
IKEDA Kenta

パーカッション

Percussion



大河原 渉
OKAWARA Wataru



本間 雄也
HOMMA Yuya

□ 試用期間

楽団長

阿部 紋子
ステージマネージャー
佐藤 駿一郎
インスペクター
ライブラリアン

理事長 (代表理事)
副理事長 (代表理事)
専務理事 (代表理事)
常務理事 (代表理事)
理事 (業務執行理事)

監事
評議員
評議員

特別顧問
名誉顧問

伊藤 寛隆
阿部 紋子
長橋 健太/森田 大翔
佐藤 駿一郎
鈴木 徳介/谷崎 大起
鬼頭 さやか/坂藤 史映/杉本 哲也

石塚 邦雄
五味 康昌
福井 英次
後藤 朋俊
別府 一樹
田村 浩章/戸所 邦弘/福本 ともみ
佐々木 経世/葉田 順治
福澤 宏哉/細谷 義徳

加藤 丈夫
津田 義久/島田 精一/小林 研一郎
荒崎 康一郎/青井 浩/梶浦 卓一
河北 博文/山口 多賀幸/久保田 隆
木村 恵司/石村 等/大塚 宣夫
村上 典史子/福田 尚/安孫子 正
西澤 豊/福満 一夫/中根 幹太
飯嶋 庸夫/北村 邦太郎/奥田 佳道
坂川 直也
平井 俊邦
熊谷 直彦/島田 晴雄

テューバ

Tuba



柳生 和夫
YAGYU Kazuhiro

ハープ

Harp



松井 久子
MATSUI Hisako

写真 © 井村重人

マネジメントスタッフ

浅見 浩司/磯部 一史/江原 陽子
及川 ひろか/小川 紗智子/萩島 里帆
賀澤 美和/香取 春子/金田 雅子
小須田 萌/佐々木 文雄/澤田 智夫
篠崎 めぐみ/山 綾子/山 までか
高橋 勇人/高橋 みゆき/田中 正彦
樋谷 祐子/中村 沙緒理/西田 大輔
西田 真菜/長谷川 珠子/樋高 雄太
藤田 千明/古館 順一/宗澤 晶子
/山岸 淳子/和田 美希

チーフマーケティングオフィサー
シニア・パートナー

伊藤 治彦
新井 康允/永島 義郎/南部 洋一
吉江 信博

団友

青柳 哲夫/青山 均/赤堀 泰江
新井 豊治/伊藤 恒男/伊波 睦
宇田 紀夫/遠藤 功/遠藤 剛史
大石 修/寛 美知子/柏熊 由紀子
加藤 祐一/金本 順子/蒲谷 隆行
川口 和宏/川口 貴/菊田 秋一
岸良 開城/吉川 利幸/木村 正伸
小山 清/斎藤 千穂/佐々木 裕司
佐藤 玲子/菅原 光/高木 裕子
高木 雄司/高木 洋/高倉 理実
高山 智仁/田沢 烈/立川 和男
堂坂 俊子/富樫 尚代/豊田 尚生
中川 二郎/中里 州宏/永田 健一
中務 幸彦/奈切 敏郎/橋本 洋
畑井 紀代子/平賀 法子/福島 喜裕
本田 純一/松本 克巳/松本 伸二
三本 克郎/宮武 良平/三好 明子
森 茂/山下 進三/山科 淑子
渡辺 哲雄

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

チケットお申し込み・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911 (平日10時~17時)

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

eチケット♪

<https://eticket.japanphil.or.jp/>X (旧Twitter)
@JapanphilLINE
公式
アカウント公式
インスタグラム公式
Facebookメールマガジン
日本フィル NEWS はこちらから登録！日本フィル公式YouTube  / @JapanphilMovie「2分でわかる！
大人のためのオーケストラ入門Plus+」
毎月10日・20日に
お届け